

発行：株式会社北海道しんきん情報サービス 〒060-0032 札幌市中央区北2条東7丁目 HBAシステムビル TEL.011-233-1212(代) FAX.011-261-1811



新年のご挨拶

株式会社北海道しんきん情報サービス
代表取締役社長

武田 大二郎



令和4年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年もまた、新型コロナウイルス感染拡大・長期化に翻弄された1年となりましたが、10月頃から感染者数は急激に減り、以降は徐々に社会活動も活発化してきたように感じております。

この間、各企業は様々な対策を講じて防御線を張ってきたと思います。当社のような中小零細企業は豊富な人員がいるわけではありませんので、万一の時の代替は難しく、工夫を凝らしても限界がありました。その中で、何としても株主信用金庫にご迷惑をかけるような事があつてはならないと、各金庫にも種々相談をしながら可能な限りの対策を講じて業務を遂行して参りました。

お陰様で、コロナ禍が始まって以来、社員全員が今までを恙無く過ごしてこられたことは、もちろん一人一人の責任ある行動の賜物でもあります。入居する(株)HBAシステムビルの厳重な管理態勢等、周囲のご協力もあってのことと思い、心から感謝申し上げます。

改めて昨年を振り返りますと、このコロナ禍には色々と気付かされたことも多かったと思います。リモート会議や在宅勤務等が一部当たり前のスタイルになり、それらがまたこれから時代のトレンドの如く正当化されているような風潮にもなりましたが、一方で、それが根本的な人間関係の構築までには絶対に至らないことも明確になったわけで、その中で各企業は今後どのようなスタイルで進もうとしているのか、それが当社にどのように影響するか、今後の判断材料にはなったと思います。

薄れゆくコミュニケーションの中で、今年3月には鎌ヶ谷の全信協研修所が閉鎖されることを知りました。当時2週間コースの研修を3度も受講させていただいた私としては、これほど業界の素晴らしい繋がりを感じた場所は無く、本当に残念でなりません。

このように激変する時代の中で、昨年もまた新語や流行語が飛び交いましたが、多数のワードの中で私が最も身近に意識していた新語といえば、やはり昨今耳目に触れない日はないほど当たり前になった「SDGs」でしょうか。今やその本質を理解しているとは思えない人でさえも、日本人の横並び意識でスーツや制服にバッジを付けている人を見るようになりました。私もまた、そのバッジを付ける一人であります。当社のような中小零細企業が、会社としてこのSDGsにどれだけ貢献できるかは別として、せめて個人の行動、一人一人の意識によって少しでもSDGsの目標達成に近づくのであれば、私は積極的に声を上げ行動したいと思うのです。「開発目標」というと、どうしても個人には関係しない感覚にさせてしまいますが、今後未来の子供達に少しでも良い環境を残していくたいという気持ちで「持続可能」という言葉を真面目に捉え、個人でやれる小さなことを実践する。一見グローバルな17の目標も、個人の取組み無くして2030年には達成できないと言われております。節電・節水、フードロスの意識、リサイクル・ゴミの分別・紙の無駄遣いを減らす...等々。今更ですが、当たり前の小さな取組みを怠らず、これらが積み重なって必ず地球の持続可能性に繋がると信じ、ポーズではなく、しっかり実践していきたいと思っております。

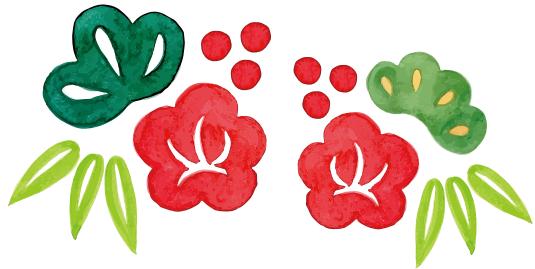
当社は昨年10月、お陰様で創立20周年を迎えました。時代は変化しようと、当社の存在意義は変わりません。地域に根差し貢献する信用金庫に少しでもお役に立てるよう、一層尽力して参りますので、倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、コロナ禍の一歩も早い終息を願い、皆様にとりまして飛躍、発展の年となりますようご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

株式会社北海道しんきん情報サービス
システム検討委員会 委員長
田原 栄輝 (道南うみ街信用金庫 専務理事)



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては恙なく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新春を迎える、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中のシステム検討委員会に対します格別のご高配に対し厚く感謝を申し上げます。

残念ながら2021年も、その幕開けから新型コロナウイルスは猛威を振るい、委員会活動も不本意なものとなりました。

10月以降は、明確な理由は不明ながらもその勢いは急速に衰え、いよいよもってアフターコロナが見えてきたと思った矢先に新たな変異株が確認され、新しい年にも暗い影を落としています。

欧米を中心に、雇用に起因する供給不足に加え、リベンジ消費の盛り上がりによるインフレーション(スタグフレーション?)の長期化が懸念され、市場では金融政策の変更を織り込む動きも見えますが、我が国においては円安による輸入物価の上昇に資源価格の高騰もあり、その国民性からもリベンジ消費に沸く状況には遠く及ぼません。

係る中、日本生命が実施した今年の調査では、職場の飲み会について「不要、どちらかと言えば不要」の回答が、調査開始以降初めて「必要、どちらかと言えば必要」の割合を超える人が飲み会の減少を良しとし、7割を超える人が在宅ワークを肯定しているそうで、この結果一つを見ても、時代は着実に「ニューノーマル」に向かっているようです。

思えば、コロナ以前であった2019年の年末には既に「#忘年会スルー」がツイッター上を飛び交っていたことや、通勤ラッシュを回避するために、早朝から京橋のドトールコーヒーが人で溢れていたことを思い出してみても、この新しいウイルスは、我が国の政治や医療、制度の歪みに止まらず、これまで気付かないふりをしてきた様々なものを、改めて浮彫りにするために発生したのではないかとさえ感じてしまいます。

すっかりWeb会議も日常になりましたが、これだけ使うようになると「Webで十分」な会合と、「しゃべりたい!」会合の性質の違いもある程度明確になってきました。

そんな欲求に応えるのか、「メタ(旧フェイスブック)」が提供する「Horizon_Workrooms」というメタバース・アプリは、参加者同士が目を合わせて議論が出来たり、参加者のいる方向から声が聞こえる「無限のオフィス」だそうです。

システム検討委員会もVR開催となり、委員がアバターで参集する日がすぐに来るかもしれません。

そんな日に備え、私も世の中の変化に対する感度を高め、今年も不易流行を志に、感染症のその先を見据えて参りたいと思います。(本当はこんな話こそグラスを傾けながら話し合いたいところなんですがねえ…)

結びに、本年も委員会活動に対します変わらぬご指導ご鞭撻をお願いしますとともに、新年が皆様によりまして幸多き輝かしい一年となりますことをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

共同利用型LanScopeCatの提供について

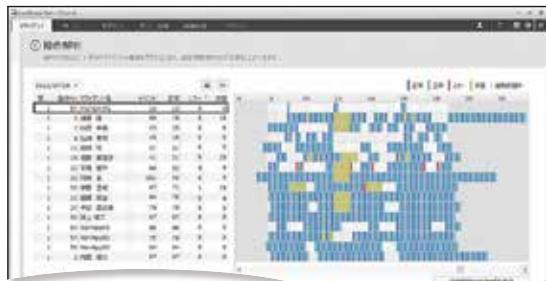
各金庫内部での個人情報・重要データの漏えい対策として、金庫の汎用PCを一元管理することができるセキュリティ管理ツール「共同利用型LanScopeCat」の提供を開始いたします。

情報漏えい対策に限らず、IT資産管理やWindowsアップデート対応にも活用いただけるほか、PCの操作ログ記録による業務の可視化・PCの電源管理機能によって「働き方改革」を支援いたします。

さらに、本システムは当社仮想サーバに構築いたしますので、共同利用で安価にご利用いただくことが可能です。

様々なエンドポイント機能を搭載し、シンプルで効率的なITマネジメントを実現いたしますので、是非ともご利用ご検討いただきますようお願い申し上げます。

(ex) PCの利用状況を「見える化」



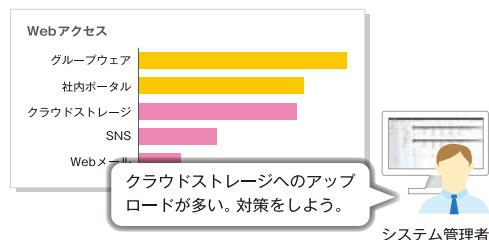
■操作解析画面



ご活用ケース「情報漏えい対策」

情報を扱う“人の操作”を記録

操作ログを取得することで、不正操作がしづらい抑止環境を作ることができます。また予め決めたルールに違反した操作をリアルタイムに把握することができます。



操作ログ
管理

情報の持ち出し経路を把握し、制御

私物USBメモリやクラウドストレージの利用を禁止し、情報の持ち出し経路を限定することで、リスクを減らすことができます。



Webサイト閲覧
→ Webフィルター



USBメモリ利用
→ デバイス制御



公衆Wi-Fi接続
→ 通信デバイス制御

Web
アクセス
管理

デバイス
制御

IT資産管理
(操作ログ管理)

不正なアプリのインストールや利用を制御

社内で利用されているアプリを把握し、不正ソフトや許可していないアプリがあった場合には、起動を禁止することができます。また、リアルタイムに職員にポップアップで注意喚起を行えます。

本サービスにご興味をお持ちの金庫様は企画・営業推進グループ宛までお気軽にお問い合わせください。 ☎ 011-221-2210

デジタルサイネージの更改について

当社で提供しているデジタルサイネージにつきましては、導入から約7年を迎えることから、STB(SetTopBox)の更改をご提案すると共に、コンテンツ配信元の見直しを行って参りました。

見直し後のサービスにつきましても、「地域密着」「顧客接点強化」といった提供当初からのコンセプトならびに設計から運用までワンストップでご利用いただけるメリットをそのまま活かしてご提供いたします。

金利情報、ニュース、エンタメ情報さらには動画など、金庫のお客様に有効なコンテンツと組み合わせることで、視認率の向上による販促効果が得られるほか、お客様の体感待ち時間の短縮等、従来の紙の広告媒体には無い様々な効果が期待できます。

また、新サービスでは、毎月の利用料をより安価にしており、更にご利用いただきやすくなりますので、この機会に是非ともご利用ご検討いただきますようお願い申し上げます。



分割構成で様々な情報を発信。
画面デザイン・掲載内容は自由に
設計可能です。



共同利用によるコストメリットを
生かしつつ、金庫毎の専用管理
画面により独立性を確保して
おります。

ディスプレイの種類や設置場所等も含め、ご要望に応じた最も効率の良いタイプの
サイネージをご提案いたします。

本サービスにご興味をお持ちの金庫様は企画・営業推進グループ宛までお気軽にお問い合わせください。 ☎ 011-221-2210

発行：株式会社北海道しんきん情報サービス

〒060-0032 札幌市中央区北2条東7丁目 HBAシステムビル TEL.011-233-1212(代) FAX.011-261-1811